

秋のお彼岸

お彼岸は、ご先祖さまのお浄土での幸せを願って
仏事を行う期間で、
春分・秋分の日を中日とする7日間です。
それぞれ春彼岸と秋彼岸と呼ばれており、
初日は彼岸の入り、最終日は彼岸明けといえます。

この期間、多くのお寺で「彼岸会」という、
ご先祖さまを供養し、
私たちもお浄土へ往けるよう願う
法要が行われます。
日本独自の行事で、奈良時代から
行われるようになったとされています。

秋のお彼岸の中日である秋分の日は、
太陽が真西に沈みます。
西は、阿弥陀さまのいらっしゃる
極楽浄土がある方角。
彼岸会に参加したり、
お墓参りをしたり、
ご先祖さまへの思いを捧げ、
西の彼方にある、
お浄土に思いを
はせてみませんか。



ぬりえ

あきの おひがん

「にし」のほうぐくには、
あみださまと、ごせんぞさまが
いらっしゃいます。

たいようが「まにし」のほうぐくにしずむひは、
ごせんぞさまをおもうのに、ぴったりなひです。

たいようがしずむほうにむかって、
てをあわせましょう。

ゆうひのむこうで、みんなのことを、
あたたかくみまもっていますよ。

